

決算特別委員会

3・11以降の対応について質問

決算特別委員会は、10月25日から27日まで町役場3階大ホールで開かれました。特別委員長には、山崎幸男委員を選出。3日間にわたり一般会計や国民健康保険特別会計など9会計の平成22年度決算を審議しました。ここではその審議の概要をお伝えします。

賛成討論

○一般会計

■稲川勝憲 議員

一般会計の決算額は、歳入が84億1108万円で前年度に比較して11・2%の増、歳出が、71億1680万円の前年度に比較して4・4%の減となり、実質収支額の9億5021万円を翌年度へ繰り越すことができた。

また、実質公債費比率は14・5%となっている。

今年度は第8次総合発展計画の5年目であったが、東日本大震災のため、災害対策を実施することとなった。今後は「防災に強いまちづくり」をお願いしたい。



役場3階大ホールで開かれた決算特別委員会

山田病院などほかの場所に
問 県立山田病院、柳沢の町営住宅、山田消防署は場

所を移して再建すべきでは。

町長 病院は県、消防署は宮古広域の判断もある。町営住宅は市町村版の二重ローンとなる。国の支援の詳細がまだ見えないことから財源の問題もあるが、今の場所ですべて復旧したほうが手当が厚い。安全策を講じて現在の場所に復旧したい。

税収納率の県内順位は

問 収納未済額が多い。収納率の県内での順位は。

税務課 平成22年度の収納率の順位は県内34市町村中、個人町民税が33位、法人町民税が19位、固定資産税が33位、軽自動車税が32位、国民健康保険税が33

位。低い要因は職業形態と納税意欲の違いと考える。

インフルエンザワクチン助成を

問 インフルエンザワクチン接種に助成充実を。

健康福祉課 65歳以上に對して1500円の助成をしている。平成23年度新たに日本ユニセフの補助で中学生以下に對して1回当たり2000円の助成をする。

ボラセンの運営は誰が

問 ボランティアセンターの運営はどのように行っているか。

総務課 社会福祉協議会の

事務局長がセンター長、NPO団体「大雪りばあねつと」の代表が副センター長であり、ボランティアの受け付け、仕事の差配を行っている。NPO団体には緊急雇用事業を委託し、団体では、物資センターの運営、海上の遺体捜索、ボランティアセンター運営の支援、物資の配給などで90名ほど雇用している。

パソコンの研修誰が受講したか

問 労働費のパソコンリース料とパソコン研修受講料の内容は。

総務課 未就職卒業生支援事業として雇用了4名が使用するパソコンのリース料